

総合計画体系	政策名	V 賑わいあふれる雲南市 《産業・雇用》	施策主管課	農林振興課
			施策統括課長	高野 耕治
	施策名	33 農業の振興	関係課	農林土木課, 農業委員会, 事業管理課

1. 施策の目的と指標

目的	①対象(誰、何を対象としているのか)	対象指標		単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
目的	市内の農業従事者	A	農業従事者数	人	実績	4,990	4,990	4,545			
					見込			4,990	4,990	4,990	4,990
		B	15歳以上商圏人口	人	実績	29,921	30,689	30,676			
					見込			31,000	30,000	29,000	28,000
		C			実績						
					見込						
目的	②意図(どのような状態にするのか)	成果指標		単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
目的	A) 消費者に信頼される安心・安全な農畜産物を生産する。 B) 農家所得の向上。	A	エコファーマー数(米)	人	実績	126	126	96			
					目標		(135)	127	128	129	130
		B	産直会員数(野菜)	人	実績	1,351	1,394	1,445			
					目標		(1360)	1,370	1,380	1,390	1,400
		C	JA雲南販売額	億円	実績	26.8	25.7	23.2			
					目標		(26)	26.0	26.0	26.0	26.0
		D	市内の農業所得総額	億円	実績	▲ 3.2	▲ 3.4	▲ 2.3			
					目標		▲ 3.0	▲ 2.9	▲ 2.8	▲ 2.7	▲ 2.6
成果指標設定の考え方 (成果指標設定の理由)		A) 消費者に信頼される安心・安全な農畜産物が生産されているかどうかは、米についてはエコファーマー数で、野菜については産直会員数で把握可能と考えた。(産直会員は減農薬で生産することを指導されている) B-1) 農畜産物の生産状況は、JA雲南販売額で概ね把握できると考えた。 B-2) 農家所得の向上は、市内の農業所得額全体額で把握可能と考えた。									
成果指標の測定企画 (実績値の把握方法)		A) 農林振興課 B-1) JA雲南 B-2) 税務課「課税状況調査」									
目標設定とその根拠 (基本計画策定時)		A) エコファーマー数について、成行値は過去の傾向から同程度で推移すると予測する。目標値は、今後の大幅な増加は難しいが、振興策を強化することで毎年1人ずつ増加させていくこととする。B) 産直会員数について、成行値は今後の取り組みがなければ同程度で推移すると予測する。目標値は地産地消などの推進により、徐々に加入を増やすが、既にかなり浸透してきており、これまでの増加ペースほどは見込めないため、最終年度で現状より約50人の増加とする。C) JA雲南販売額については、成り行き値は、米価の下落や子牛価格の低迷により、引き続き減少傾向で推移すると予測する。目標値は農畜産物の生産量、単価の増加が期待できないなか、現状値を維持することとする。D) 農業所得総額は、成り行き値は、JAの販売額の低下と所得補償制度により、現状(3億円の赤字)程度で推移すると予測する。目標値は、H22年度から戸別所得補償が始まり現状より2億円程度所得が増加する一方、米価の下落で2億円程度の減収が予測される状況であるが、目標は、1千万円ずつ毎年改善していくことを目指す。									

2. 基本事業の目的と指標

基本事業名	対象	意図	成果指標	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
① 生産基盤の整備・保全	農業従事者	農業の生産性を維持・向上できるようにする。	圃場整備率、駆除頭数	% 頭	実績	66.9 1,158	67.4 1,980	67.6 1,138			
② 安心・安全な農産物生産の推進	販売農家・団体	消費者の信頼を得る。	①エコファーマー数、②上位等級米比率、③肉用牛飼養頭数(繁殖・肥育)	人・% 頭	実績	①126 ② ③734・582	①126 ②67 ③665・781	①96 ②72.4 ③612・724			
③ 農業の6次産業化	販売農家・団体	販売額を増加させる。	JA雲南販売額	億円	実績	26.8	25.7	23.2			
④ 担い手の育成	農業従事者	農業の担い手を育成する。	①認定農業者数、②農業法人・団体数、③農地集積面積	人(団体) ha	実績	①81 ② ③480.3	①79 ②27 ③612.1	①78 ②30 ③648.25			
⑤					実績						

3. 施策の役割分担と状況変化

役割分担	住民(事業所、地域、団体)の役割	行政(市、県、国)の役割
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 農地を含めた地域環境の維持保全に努める。</li> <li>● 生産コストの削減と生産性の向上に努める。</li> <li>● 有害鳥獣の被害防止対策を実施する。</li> <li>● 消費者ニーズに対応した安全・安心な農畜産物の生産、高付加価値商品の提供に努める。</li> <li>● 家畜ふん尿の適切な処理により地域生活環境を保全する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 農地及び農村環境の維持保全や生産基盤の整備、農業経営の安定化を図るための支援をする。</li> <li>● 安全・安心な農産物の生産振興や高付加価値化への支援をする。</li> <li>● 認定農業者、集落営農組織等担い手の育成、支援をする。</li> <li>● 有害鳥獣の被害防止対策への支援をする。</li> </ul>
②	<p>A) 施策を取り巻く状況(対象や根拠法令、社会情勢等)は、今後どのように変化するか?(本年度を見越して)</p> <p>○ 農業従事者は高齢化などによる担い手不足から減少傾向にあり、耕作放棄地が増加している。また、不在地主が増加している。○ 米離れが進み依然として米価が低価格である。また、県の米の生産数量目標の見通しが不十分で、目標達成が困難である。○ 農地法の改正により権利移動の規制が緩和され、一般法人等でも条件付きで農地の賃借が可能になった。○ H23年度から戸別所得補償制度が本格実施されたが、制度見直しの方向が不透明である。○ 農作物への鳥獣被害が拡大している。○ 国ではTPPへの参加が議論されている。○ 繁殖飼養農家の高齢化・担い手不足のため飼養農家・頭数が減少している。○ H23年度、JA雲南肥育センター縮小計画が示された。○ セシウム汚染堆肥の処理が問題となっている。</p>	<p>B) この施策に対して、住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <p>○ 農業従事者からは、農業に対するさらなる支援、整備や有害鳥獣駆除対策の充実が求められている。○ 消費者からは、安全・安心な農畜産物の供給が求められている。○ TPPに関して、市議会、農業関係団体などから反対の意思表示がされている。○ 奥出雲と牛のブランド化による畜産振興が望まれている。○ セシウム汚染堆肥の早期処分が求められている。</p>

4. 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べた成果水準)	
<input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてかなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてどちらかと言えば高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> 近隣他市と比べてほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてどちらかと言えば低い水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてかなり低い水準である。	<p>背景・要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 雲南圏域では、同じJA管内のため、成果水準もほぼ同水準である。</li> <li>○ 中山間地域の農業構造は基本的に同じ状況である。</li> </ul>

平成24年度施策マネジメントシート2(平成23年度実績の評価)

《33 農業の振興》

4. 施策の成果水準の分析と背景・要因の考察

時系列での比較(成果水準の推移)	
<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した <input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	背景・要因 ○東日本大震災の影響により米価は上昇したが、青果などの市場価格が下落した。 ○米の生産目標数量が大幅に削減、青果の価格安及び、子牛販売頭数の減少等により、JA雲南販売額や農家所得が減少した。

5. 施策の振り返り評価

施策の目標達成度(前年度の成果指標値に対する実績値の達成度)	
<input type="checkbox"/> 目標値より高い実績だった <input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった <input type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった	背景・要因 ○米の生産目標数量が大幅に削減、青果の価格安及び、子牛販売頭数の減少等により、JA雲南販売額や農家所得が減少した。 ○農業の6次産業化が推進された。(米粉パン、蕎麦を利用した農家レストラン、スイーツプロジェクト、スパイスプロジェクト等)

基本事業	取り組んだ事務事業の総括(事務事業貢献度評価:貢献した事務事業、課題が残った事務事業)
① 生産基盤の整備・保全	・養質地区農業生産法人等育成緊急整備事業や農地有効利用支援整備事業などにより、主に水稻の生産基盤の整備を図ることができた。 ・農作物被害防止対策事業や有害鳥獣駆除事業を着実に実施することにより、被害軽減に効果があがっていると考えられる。 ・ライス拠点整備事業により、良質米の安定供給が確保されている。 ・中山間地域等直接支払制度及び農地・水保全管理支払交付金事業により、農地の保全が確保された。
② 安心・安全な農産物生産の推進	・特産作物推進対策事業等によって、安心・安全な特産品の生産拡大に取り組み、産直会員数の増加に寄与した。 ・台湾へ2トンの米試験輸出を行い、市場調査を実施した。 ・優良雌牛の導入など牛振興に取り組みしたが、子牛価格の低迷、畜産農家の高齢化、後継者不足の問題に加え、飼料及び原油高騰による経費の増大により経営が圧迫され、飼養農家数・頭数が減少した。 ・セシウム汚染堆肥の出荷停止により、大量の暫定許容値以下の堆肥処理が問題となった。
③ 農業の6次産業化	・しまねの元気な郷づくり事業を活用し、米粉パンの店舗がオープンできた。 ・H25年春オープンの雲南市地域活性化施設内の農家レストラン(蕎麦)・産直市の準備に取り組んだ。
④ 担い手の育成	・県、JA、農業委員会、市の連携による雲南市担い手育成支援室(ワンストップ窓口)で、農業担い手や集落営農組織・法人の経営指導等にあたった。これにより、農業生産法人、団体が増加した。(農業生産法人1増) また、企業の農業参入においては、水田多面的利活用等を利用して耕作放棄地を活用した規模拡大がなされた。
⑤	

6. 今後の課題と次年度の方針(案)

区分	今後の課題	次年度の方針(案)	
施策	○生産基盤の整備による生産コストの低減を図らなければならない。 ○消費者が求める、安心・安全な農産物の生産を拡大していく必要がある。 ○農業の多様な担い手の育成が急務である。	○雲南北地区中山間地域総合整備事業等の実施により、生産基盤を整備し、生産コストの低減を図る。 ○消費者が求める安心・安全な農産物の生産・販売を拡大していく。 ○農業の多様な担い手の育成を図っていく。	
基本事業	① 生産基盤の整備・保全	○有害鳥獣被害対策や耕作放棄地の解消に取り組む必要がある。 ○圃場整備や農地集積など、生産コストの低減を図る必要がある。	○有害鳥獣被害対策や耕作放棄地の解消に継続的に取り組む。 ○圃場整備や農地集積など、生産コストの低減に継続的に取り組んでいく。
	② 安心・安全な農産物生産の推進	○産直会員数及び販売額の増加を図る必要がある。 ○エコロジー米の生産拡大を図る必要がある。 ○米の台湾輸出への本格的実施。 ○和牛肉の試験輸出の実施。 ○畜産農家の高齢化により繁殖牛が減少しており、増頭による多頭飼育農家を育成する必要がある。 ○雲南農業振興協議会及び県と連携し、「奥出雲和牛振興対策」の策定・実施が必要である。	○産直会員数のさらなる増加を図る。 ○エコロジー米の生産拡大を図る。 ○「奥出雲和牛振興対策」を着実に推進していく。 ○米・和牛肉の輸出への取り組み強化していく。
	③ 農業の6次産業化	○阪急オアシスでの販売など、雲南ブランド商品の販売を強化していく必要がある。 ○農・商・工連携による6次産業化(スイーツ・スパイスプロジェクトなど)を推進していく必要がある。 ○販売施設の整備・充実により、商品の販売・PRを強化する必要がある。	○阪急オアシスでの販売など、雲南ブランド商品の販売を強化していく。 ○農・商・工連携による6次産業化(スイーツ・スパイスプロジェクトなど)を推進していく。 ○販売施設の整備・充実により、商品の販売・PRを強化していく。
	④ 担い手の育成	○集落営農の組織化・農業法人化とリーダーの育成を図っていく必要がある。 ○認定農業者の育成・確保を図っていく必要がある。 ○新規就農者や企業の農業参入を促進していく必要がある。	○集落営農の組織化・農業法人化とリーダーの育成を図っていく。 ○認定農業者の育成・確保を図っていく。 ○過疎債ソフトによる農業担い手育成支援制度を推進していく。 ○各種助成事業を活用し、企業の農業参入を促進していく。
	⑤		